



西日本豪雨の被害に対しまして心よりお見舞いを申し上げます。1日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。
7月1日に南魚沼市防災訓練が行われましたが、災害には日頃の備えが大事です。災害時には自助、共助、公助が基本ですが、初動においては自助が最も大事です。
6月定例会は、6月4日から15日までの12日間で行われました。
南魚沼市議会議員 目黒哲也は、一般質問を行い皆様のお声を市政にお届けいたしました。◎質問と答弁は以下の通りです。

めぐろの目 “切り札は『観光と農業』”

十数年前に「中央から地方へ」と叫ばれ、そして「地方分権」から「地方創生」へと国は棍を切っております。この地方創生の時代、「自分たちのまちは自らの手で創り、またその責任も自らが負う」という真に自立した住民社会の創造を実現していかなばならないと私は考えます。
現在、我が市が抱える課題は、「人口減少」が引き金となって、「少子高齢化」が進み、更には「商店街の衰退」とつながってくることから、この3つが直面している大きな課題であると考えます。
更に若年、とりわけ若年女性が流出する社会移動により出生数が下がるという社会減少と自然減少の「ダブルの人口減少」によって、人口減少のスピードが増して来ており、事態は極めて深刻であると言えます。
この課題の突破口は、私は、「観光」と「農業」の地域資源が切り札ではないかと考えます。人口減少という大きな問題に直面する地域が経済的な自立を保つため、とりわけ地域経済の活性化の手段としての「観光」と「農業」は両輪となって効果を発揮するはずで、それは観光客の消費が地域に及ぼす経済波及効果は市内の経済循環を高め、更に幅広い産業に波及

していくことと共に雇用の維持や創出、更には出産・子育てのより良い環境へとつながっていくと考えるからです。
去る6月26日に北海道ニセコ町に行政視察に行ってきた。今や国際的なリゾート地として、日本国内だけでなく、世界中から注目を浴びている町です。人口は5,000名弱位ですが、その内外国人住民が230名位居住しております。高齢化率25%位で、観光客数は年間170万位がニセコ町に訪れています。その内、外国人の延宿泊数は、21万名位と多くの外国人が占めております。このニセコ町の地域資源は「観光」と「農業」であり、この2つを柱にまちづくりを進めてきております。その結果、各種統計調査においてニセコ町の人口が増加傾向にあることと起業や雇用が増えていることなどの背景には、観光協会を株式化にして「観光」と「農業」を展開してきたことが大きく影響していると感じています。
これからの地域は、「やれることをやっていく」ではなく、「やるべきことをやっていく」という未来から逆算したまちづくりが重要であると私は考えております。
住んでいる人が「笑顔」、働いている人が「笑顔」、訪れた人が「笑顔」。そんな「笑顔」が溢れる南魚沼を。そして「このまちに生まれて本当に良かった」と全ての子どもたちが言ってくれる「誇り」が持てる南魚沼市を目黒哲也は創造していきます。

質問 銭淵公園を観光振興に活用していく考えがあるか伺う

市長答弁

直ちに検討委員会を立ち上げ、ブラッシュアップし、魅力を高め、スピード感を持って展開していく。

●質問の視点と要旨

平成8年の河川改修により誕生した銭淵公園は、六日町中心市街地の奥にあり、加えて坂戸山の麓に位置し、市民にとっては交通至便な場所にある。本庭園風の公園には四季折々の花が咲き、池を一周する遊歩道が整備され、散歩を楽しむことができる。天気の良い日には子ども連れの家族が遊んでいたりと、犬を連れて散歩したり、広大な芝生で寝ころんだり等、今やここは市民の憩いの場所となっている。
現在、銭淵公園がいちばん盛り上がりを見せるのが、毎年四月中旬から下旬の「観桜会」。銭淵公園には池のほとりを中心にソメイヨシノやシダレザクラが約100本。期間中はライトアップもされている。また、初夏のひとときには幻想的なホタル観賞もできる。秋には公園のバックにそびえる坂戸山の紅葉と共に素晴らしい情景となる。冬には公園内にかまくらが造られている。
また公園の駐車場では5月から10月の日曜日「六日町温泉朝市」が開催され、もぎたての地物野菜を求めて多くの観光客や地元の方でにぎわっている。
この銭淵公園内の池や施設を整備し、更に魅力を高め、周辺にある坂戸山、坂戸城跡石垣、埋田堀、魚野川、船着き場、こうりんぼう等の資源を活かして、つなげることで、1年を通して誘客を促すことができると私は考えている。
更に銭淵公園周辺において、夏には従来の兼続公祭りを進化させた兼続公大祭を、冬は雪祭りを開催したらどうかとも考えている。

市長答弁

近年、坂戸山や銭淵公園は、多くの市民が集まり、健康増進や憩いの場となっている。四季を通じて様々な催しや周辺観光地とつなげて観光誘客策を検討していく。合わせて市民の憩いの場としても更にブラッシュアップし、魅力を高めていきたい。

質問 銭淵公園周辺は観光誘致に非常に可能性を秘めていると考えるがどうか

●質問の視点と要旨

■花(見)からの視点

銭淵公園の一番の盛り上がりが見る観桜会であるが、日本中においても一大行事であり、今や世界各国から観光の目玉として注目されている春の風物詩が「お花見」である。
関西大学 宮本勝浩名誉教授の日本の花見の経済効果を計算した結果、今年の3月下旬～5月上旬の約2ヶ月間で日本全体に6,517億4,013万円。(中国から今年の花見シーズンに日本を訪れる観光客数が60万人に達し、消費総額は80億円(約1,348億円))
ちなみに試算によると、上野動物園のパンダの赤ちゃん「シャンシャン」の年間の経済効果(267億4,736万円)の約24倍、東京スカイツリーの年間の経済効果(835億3,485万円)の約8倍にのぼる。
まさにその経済効果は東京五輪級とも言われ、約2ヶ月間で日本全体にこれほどの大きな経済効果をもたらす花見はビッグコンテンツになっている。
ちなみに銭淵公園の観桜会の入場者数は、1日最大入場者数 約8,500名 ライトアップ時最大入場者数 約2,300名 1日平均 約1,800名。
ソメイヨシノやシダレザクラが約100本では、高田の観桜会には数では及ばなくともバックにそびえる坂戸山の山桜と、桜と一緒にかたくりが見れる場所はキラコンテンツになりえると考えます。
カタクリの花は「春の妖精」とも「春の女王」ともいわれ、現在、カタクリは乱獲や自然破壊により絶滅が心配され、「幻の花」ともいわれている。
全国のかたくりの名所をネットで調べると、全国で12か所。新潟県では南魚沼市のみである。東日本では、栃木2か所、茨城1か所、東京1か所、神奈川1か所、群馬1か所、新潟南魚沼市1か所で、計7か所、西日本では、滋賀1か所、兵庫1か所、岡山2か所で計4か所。桜の時期が終わると、坂戸通りのはなみづきや銭淵公園、埋田堀の花しょうぶが鑑賞出来る。
花しょうぶと言えば、上の原花しょうぶ祭りである。昭和39年に明治神宮から25種200株の分譲を受けたのがはじまり。現在では100種8000株に加え、早咲・中咲・遅咲とかわるがわる咲き続け、7月下旬まで訪れる人の目を楽しませてくれます。
歴史的にも上杉家ともゆかりのある会津藩の行楽地にも花はしょうぶがあり、古来より上

杉家も花しょうぶを愛でて楽しんでいたのではないかと。
現在、銭淵公園内は初夏にはたくさんの蛍が舞い幻想的な雰囲気を醸し出している。この蛍も有志が長年整備し育ててきたもの。また埋田堀も坂戸区の有志で花しょうぶやスイレンを植えて育てているが、観光地としてブラッシュアップしていくには行政の力も必要であると考えます。
銭淵公園は、春は花見、夏はほたる、秋は紅葉、冬はかまくらと四季を通して南魚沼の自然を世界に発信出来る可能性はあると思うが市長はどう考えるか。

市長答弁

花見の時期は多くの市民が集い、魅力的な場となっている。自分自身も埋田堀周辺は散歩し素敵な場所であると感じている。通年観光を目指し、周辺観光地とつなげて発信していきたいと考えている。

■スポーツからの視点

現在、坂戸山登山は1年中大人気である。冬も登れる山として世界にも発信出来る。また若手有志は、この坂戸山のコースを利用してトレイル大会を開催し、回数を重ねるごとに参加者が増えて来ている。現在土砂崩れで通行止めになっている寺ヶ鼻コースはトレイルコースに最適である。全国唯一のトレラン指定コースとして強い発信になるはず。
また清流魚野川。中心市街地にこれほどの大きな川が流れている地は全国でも珍しいという。川舟展示室「こうりんぼうの館」が存在している。「こうりんぼう」はかつて荷役運搬に活躍した川舟ですが、観光客を乗せて川下りを楽しむことが出来る。その他にも家族連れにはカヤックも子どもと楽しめるはず。夏の食の目玉はやはり鮎の塩焼き。川で遊び、河川敷で鮎を食す。魅力的な観光になると思う。
更には中心市街地を高速でロードバイクで競うクリテリウムのプロの公式戦を誘致し、現在行われているロードレースの公式戦と合わせて全国に自転車の聖地として発信することによってグルメリイドと相乗効果となっていくはずであるが市長の考えはどうか。

市長答弁

坂戸山の盛り上がりは有志の皆さんの力であると感じている。トレランの指定は国指定のため難しいと考えている。川舟は、個人的には冬の雪に囲まれた中での川下りが魅力的だと感じている。

■歴史からの視点

坂戸城主・長尾政景が溺死したのは、この銭淵だったと伝えられている。また天地人放映以来、雲洞庵の人気は続いている。この雲洞庵は、上杉謙信公、上杉景勝公、直江兼続公ゆかりのお寺であるし、他にも市内にはゆかりのある越後浦佐毘沙門堂普光寺や龍澤寺など多くの歴史あるお寺がある。龍澤寺本尊は「文殊菩薩」三人寄せれば文殊の知恵である。それに坂戸山山頂には直江兼続の勧請によるとの伝承がある富士権現が祀られている。「愛」と「智」を合わせて観光客へ発信が可能である。
現在、坂戸城跡石垣の完成が近づいて来ている。やはり観光となると石垣だけでは誘客には弱い。この地には歴史ファンが多く訪れている。やはり将来は小さくても良いが城の建築が必要であると考えます。
更に平成21年開館した直江兼続伝世館並びに公園内の茶室をリノベーションと、公園内の大きな池の中央に舞台ステージを建設して能や音楽等を楽しめる市民や観光客の憩いの空間に変え、魅力を高める必要もあると考えます。
加えて観光客誘致には、まず大型観光バスの駐車場整備が絶対的に必要である。現在でも一般駐車場が手狭になっており、市民のニーズに応えられていない。また寺ヶ鼻コースは景色を堪能できる一番のコースなので、多くの登山客が来ているが駐車場がない状態である。合わせて銭淵公園内のトイレが狭くて数名しか利用できない。増築すると共に洋式に変え、加えて障害者用トイレの設置も必要と考えるが市長はどうか。

市長答弁

公園内の丸太橋改修工事もあるので、プロジェクトチームを立ち上げたい。メンバーには民間の方や地域の魅力を授業で展開している国際情報高校の生徒も加えたいと考えている。今後の展開は、プロジェクトチームを中心に検討し、スピード感を持って活性化を進めていきたい。兼続公まつりや雪まつりについては、来年、兼続公没後400年となる節目の年になる。米沢市からも協力を頂き、長尾家・上杉家の歴史が伝わるような、市を挙げた一大イベントにしたい。また南魚沼市らしい、ぬくもりのある雪まつりも目指していきたいと考えている。

「一般質問が市政に反映！」

①「第1回 直江兼続公伝世館及び太鼓橋改修検討会議(仮称)」を開催

6月議会閉会の5日後に6月19日に、早速プロジェクトチームによる検討会議が開催されました。市長の公約通りスピーディーな対応に熱意と誠意を感じました。今回は残念ながら国際情報高校の学生が参加することが出来ませんでした。先ずは1回目ということで現状の確認ではありましたが活発な意見も交わされました。今後は銭淵公園を中心とした周辺観光のランドデザインについて検討していきたいと考えております。

②南魚沼市兼続公まつり改革への序章!?

毎年お招きしております歴史親善友好都市の米沢市から米沢藩古式砲術保存会ですが、これまで昼間に行っていた歓迎セレモニーおよび米沢藩古式砲術保存会による砲術実演を、より多くの人に見ていただくため、今年は大煙火大会の前に六日町大橋下河川敷会場に移して、特設ステージを作り行いました。来年は、兼続公没後400年。この節目に合わせて市の代表する兼続公まつりを市民の皆さんと創造し、子どもたちが誇れるものにしていきたいと願っています。



③東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致へ動き出す!

地方創生推進交付金を活用し、姉妹都市であるリレハンメル市があるノルウェー大の自転車競技(ロードレース)を当市に事前キャンプ地として本格的に誘致活動が始まりました。12月議会において、「東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて地域活性化並びに観光振興等に資する観点からホストタウンに登録すると共に外国からの事前合宿を誘致したらどうか。特に当市で力を入れている自転車競技の誘致はどうか。」と市長に質問をしました。「スポーツ健康都市宣言」を行っている南魚沼市であり、何より世界トップ選手のプレーに触れることで、南魚沼市の競技者あるいは子供たちに大きな夢をもたらすといったスポーツ振興への効果のほか、異文化交流や地域の活性化など様々な分野への好影響が期待されるので、この誘致は何としても決めたいものです。

④中心市街地の空きスペースをイベント空間として展開していくことが決定!

3月議会において、「中心市街地の活性化について」を市長の考えをお聞きしました。「先ずは中心市街地の皆さんの考えや方向性、そしてやる気が一番大事である」と市長よりお答えを頂きました。商店街は、戦後復興期から高度成長期にかけて数を増やしてきており、いわゆる一等地で商売をするなど、「町の顔」として存在しており、祭りを開催するなど地域活性化の担い手、地域コミュニティを形成する「場」として地域に貢献をしてきました。その後、「大規模小売店舗立地法」において商業規制から社会的規制へと転換し、モータリゼーションの進展もあり、郊外への大規模小売店舗の出店が進み、商店街を中心とする中心市街地は空洞化してきているのが現実であります。薄れ始めてきている地域コミュニティや、多発してきている災害、そして地域活性化の担い手として重要な「場」となっている中心市街地の復興が必要不可欠なことであると私は考えております。この中心市街地の空き地の活用はその一歩となると期待をしております。

⑤「学校教育課」大和庁舎から市民会館へ移転 教育体制改革の第一歩!

12月議会において「子育て・教育の一貫した支援体制について」を市長の考えをお聞きしました。「教育の一体化を望むが、現状では、庁舎のスペースの問題等で体制づくりは難しい。しかし関係各課との連携を密にし、サポートを強化していく」との回答を頂きました。この度は、改革のスタートとして大和庁舎にある学校教育課を市民会館2階に移転させ、学校教育と社会教育の一体的な体制づくりを狙うものであります。現代社会の大きな変化の中で学校を取り巻く環境の変化などに対応するため、従来の児童生徒を中心とした義務教育期の学校教育に焦点を絞るだけでなく、「すべての南魚沼市民の学び」を念頭に、子どもたちだけでなく、南魚沼市民全員が笑顔で暮らせるまちづくりに向けて、教育の面から南魚沼らしいアプローチで南魚沼市の子どもたちの「あふれる笑顔を」の実現を目指して学校教育のみならず、家庭及び地域教育力の醸成や、活力あるコミュニティの形成、生涯にわたる学びを可能にする体制づくり等、多方面から総合的に取り組むための移転であります。現在、子育てや教育に対するニーズは多様化また高度化し、発達障がいなどの相談並びに支援の強化、そして幼児教育の充実や幼稚園・保育所・小学校の連携、加えて学校教育のICTなど新たな課題への対応、合わせていじめ・不登校対策や地域での青少年健全育成の充実など様々な課題に対する専門性の強化と関係者の連携の重要性は一層高まっている。更に人口減少を克服するための少子化対策を推進するには従来の延長線では不十分ではないかと考えております。今回の改革を契機に多様な人材の連携とネットワークを更に強化し、子育て・教育の一貫した支援体制の強化を図って欲しいと願っております。

注目トピックス ①平成29年度ふるさと納税総額 新潟県自治体中第2位!

平成29年6月より運用を開始し、平成30年3月31日までの9カ月間の平成29年度ふるさと納税(国際大学応援と交流促進コースは除く)は、申込み件数27,433件で、寄付総額は、8億4,584万3,615円。申込み件数は、全国自治体中132位、新潟県内2位、寄付金額は、全国自治体中89位、新潟県内2位という初年度から大変大きな額となりました。頂いた寄付金のうち、市が活用できる財源は、2億9,854万円となり、その内昨年度子育ての駅「ほのぼの」開館等で活用した7,000万円を引いた、2億2,854万円は「南魚沼市ふるさと応援基金」を設置し、基金として積み立て使途を明確にしていくことになりました。この基金は、市民がいきたいと暮らせるまちづくりに活用していきます。また平成29年12月から募集した「南魚沼市ふるさと応援隊」は、平成30年3月31日時点で、2,920人のみなさんからご入会頂いております。

②平成30年ふるさと納税総額 7月現在 新潟県自治体中第1位!

7月12日現在 申込み件数6,746件 寄付金総額1億7,465万1,000円。申込み件数は、全国自治体中62位、新潟県内1位、寄付金総額は、全国自治体中38位、新潟県内1位となっている。毎月15日頃に速報値として発表されます。

③昨年オープンした子育ての駅「ほのぼの」,「スケートパーク」共に大人気!

昨年12月21日にオープン以来、4月末までの利用者は、13,900人。日平均で、128人。一番多い時には、1日450名程の利用者があったそうです。これまでのほのぼのの広場六日町会場と比べて、約2.8倍に増えております。保護者の割合も旧施設よりも増えており、特に父親や祖父母の割合が多くなっています。今後も子育て世代の多様なニーズに応え、多くの市民から喜ばれる施設となるよう期待しています。昨年11月3日にオープンした「スケートパーク」は、冬期間の閉鎖を経て4月28日からオープンしており、現在1日平均50人以上の来場者で賑わっています。利用者の半数は県外からのスケーターであり、ジュニアから一般の利用者まで幅広くご利用頂いております。また多数のプロライダーによるデモンストレーションやブランドメーカーによるミニゲームなどや飲食ブースや物販ブースなども用意したイベントも開催されております。今後も競技スポーツの拠点施設だけでなく、若者の交流の場としても期待しています。

④渋谷×南魚沼「未来の種」(ひまわり)の植え付け! 福山雅治氏来市!?

現在、市では、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、雪の利活用やその魅力を「雪国ブランド」として、広く発信するために、若者や外国人への情報発信基地である東京都渋谷区と連携して活動を進めています。今回、このご縁で渋谷区のコミュニティFMである「渋谷のラジオ」を通じて、アーティストの福山雅治さんが2002年に植えた「未来の種」(と書いて「ひまわり」と読むそうです。)の17代目となる種をいただきました。渋谷で育て継いだ福山さんの想いがこもる、この種をペーマガスタジアムと八色の森公園の2か所に市内の子どもたちに植えてもらいました。このご縁で福山雅治さんの来市を期待!

⑤「住宅リフォーム事業」今年度で廃止! 新たな制度を!!

平成22年度から続けてきました住宅リフォーム事業補助金制度は、今年度で最終年となりました。5月から受付を開始し、5月31日現在で571件、事業費5億5,700万円に対する補助金交付予定額は、4,415万円となります。当初予算額は、2,000万円。よって補正予算を計上し、不足額は準備費を充当し、全ての希望者に補助金を交付することになりました。このように多くの市民に喜ばれ、経済効果の高い事業制度の終了は非常に残念と感じますが、新たな制度で市民サービスにつなげていくためでもあります。事業を開始した平成22年度から今年度5月末までの受付者まで入れると、補助金交付実施数は、6,700戸であり、市内総戸数14,220戸の内、利用率(実施率)は、47.1%、約半数の皆さんから利用されております。そこでこれまで利用されてきた方から再度利用できる住宅制度を新たに作るために現制度は最終年とするものであります。この住宅制度もこれから作る新たな住宅制度も特定財源が認められないものであります。市民の住環境の整備と地域の経済活性化のためにも新たな制度で住宅事業を押し進めていく必要があると考えます。

⑥南魚沼に看護師を! 「南魚沼市看護師修学資金貸与条例」を制定

市内医療機関等における看護師不足を解消するため、本人または保護者が市内に住所を有し、市内の養成施設に進学を希望する者に対して、入学月から卒業月まで、月額5万円を無利息で貸与する。卒業後、直ちに市内の医療機関の看護師となり、かつ1年以内に看護師免許を取得し、引き続き看護師として市内の医療機関に5年勤務した時には返還を免除するものである。初年度である今年度の予算(平成30年度~34年度)は、1,200万円で、5名分の修学資金額であります。

⑦食によるまちおこし事業「第9回南魚沼グルメマラソン大会」今年も大盛況!

6月10日に開催され、参加者は、ハーフマラソンが3,981人(男子49歳以下 1,903人、50歳以上 1,030人)、女子49歳以下 749人、50歳以上 299人)、8分の1マラソンが1,086人(男子 484人、女子 602人)で合計5,067人。このうち県外から2,865人、県内から2,053人と市外からの参加者が97%であります。また女性参加者が約33パーセントと高い割合を占めています。この大会が全国に南魚沼市をPRしてくれる大事なイベントとなっています。市を挙げて大切にしていきたいものです。

⑧平成30年度南魚沼市総合防災訓練 7月1日 六日町小学校で開催

南魚沼市は、7月第一日曜日を南魚沼市防災訓練の日として、毎年総合防災訓練を実施しています。今回主会場である六日町小学校では、市民参加型の体験訓練、関係機関による防災関連機器の展示、小学校児童による避難および保護者への引き渡し訓練、土砂災害避難訓練、高所救出訓練を行いました。また、大規模火災によって難航する水利確保を想定して、ミキサー車を利用した消火・一斉放水訓練も行いました。そのほか、主会場以外の各行政区では、情報伝達訓練、避難訓練等が行われました。子どもたちが一番楽しみにしていたドクターヘリは緊急が入り、急遽来れなくなったのが残念でしたが、子どもたちと保護者が楽しみながら真剣に体験訓練を行い価値ある防災訓練になったと思います。



目黒哲也市政報告会

日時/30年9月8日(土)
18時30分~
会場/坂戸城
会費/男性5,000円
女性4,000円
申込みは目黒哲也後援会まで。
ご参加をお待ちしております。

活動記録 (H30年4月~H30年6月)

| | | | | | |
|------------|---|------------|---|--------------|--|
| H2018.4.3 | 議会広報特別委員会 於 本庁舎委員会室 六日町商工会六日町支部監査会 於 味の店 京 | H2018.5.8 | 松原後援会六日町分会 於 中央楼 六日町温泉旅館組合総会 於 いろいろあん | H2018.5.31 | 花角英世県知事候補街宣車 於 南魚沼市内 |
| H2018.4.4 | 自民党会議 於 松原良道事務所 | H30.5.9~10 | H30年度第1回市町村議会議員特別セミナー ~多様化する地域課題~ 於 市町村職員中央研修所 | H2018.6.1 | 石坂ひろし県議会議員候補街宣車 於 南魚沼市内・湯沢町内 |
| H2018.4.6 | 南魚沼政治経済同友会 於 味作 | H2018.5.11 | 東東山山菜を楽しむ会 於 割烹 さかど | H2018.6.2 | 石坂ひろし県議会議員候補街宣車 於 南魚沼市内・湯沢町内 |
| H2018.4.7 | むいかまちこども園入園式 於 むいかまちこども園 | H2018.5.12 | 故 齋藤隆景君を偲ぶ会 於 木の芽坂 | H2018.6.3 | 石坂ひろし県議会議員候補街宣車 於 南魚沼市内・湯沢町内 |
| H2018.4.9 | 六日町小学校入学式 於 六日町小学校 六日町中学校入学式 於 六日町中学校 | H2018.5.13 | 自民党会議 於 松原事務所 | H2018.6.4~15 | 南魚沼市議会6月定例会議 於 南魚沼市議会会場 |
| H2018.4.10 | 南魚沼市退職議員を祝う会 於 金誠館 | H2018.5.14 | しゃくなげ湖畔を楽しむ会通常総会 於 坂戸城 | H2018.6.4 | 平成30年度兼続公まつり第2回煙火部会議 於 六日町商工会 |
| H2018.4.11 | 南魚沼市立総合支援学校入学式 於 総合支援学校 六日町商工会六日町支部会議 於 六日町商工会 六日町商工会TSUNEIディナーショー 於 金誠館 | H2018.5.15 | 特定非営利活動法人 湯沢砂防平成30年度通常総会 於 金誠館 | H2018.6.5 | 自民党会議 於 松原後援会事務所 雪国青年会議所OB会 於 石坂ひろし選挙事務所 |
| H2018.4.12 | 議会広報編集特別委員会 於 本庁舎委員会室 南魚沼グルメマラソン実行委員会 於 オカベ | H2018.5.16 | 林市長懇談会 於 松原後援会事務所 | H2018.6.6 | 南魚沼市議会総務文教委員会 於 本庁舎委員会室 南魚沼政治経済研究会 於 萬盛庵 |
| H2018.4.13 | ホテルダ・フェールイン六日町・グリストラップ汚泥処理プラント竣工祝賀会 於 坂戸城 | H2018.5.17 | 特定非営利活動法人 湯沢砂防平成30年度通常総会 於 金誠館 | H2018.6.7 | 林市長懇談会 於 松原後援会事務所 |
| H2018.4.15 | 自民党新潟県青年局街頭演説 於 新潟市 | H2018.5.18 | 協同組合 新潟県果菜種交流センター事業委員会 於 交流センター 第47回六日町商工会通常総代会 於 坂戸城 | H2018.6.10 | 東東田区要望会 於 東東田区内 第9回南魚沼市グルメマラソン 於 八色の森公園 |
| H2018.4.17 | 平成30年度第1回南魚沼市行政区長会六日町地域 於 ふれ愛支援センター | H2018.5.19 | 高千代蔵開き 於 高千代酒造 | H2018.6.11 | 南魚沼佐藤塾 於 湯沢だんろの家 コンテンツ・ツーリズム推進協議会役員会 於 南魚沼市長室 |
| H2018.4.19 | 議会広報編集特別委員会 於 本庁舎委員会室 六日町商工会平成30年度第1回理事会 於 六日町商工会 六日町商工会六日町支部単体会長会議 於 味の店 京 | H2018.5.20 | 六日町小学校運動会 於 六日町小学校 浦佐足門堂探検重要無形民俗文化財指定祝賀会 於 浦佐ホテルオカベ | H2018.6.12 | 第6回一般社団法人小千谷法人会通常総会 於 小千谷市サンライズ 櫻井よしこ氏講演会「今、日本が直面する内外の課題」 於 小千谷市サンライズ |
| H2018.4.22 | 平成30年度首都圏六日町会総会 於 上野精養軒 | H2018.5.22 | 自民党会議 於 松原後援会事務所 | H2018.6.13 | 平成30年度第2回六日町商工会理事会 於 六日町商工会 |
| H2018.4.23 | 南魚沼市議会総務文教委員会管内調査 於 南魚沼市役所本庁舎 | H2018.5.23 | 小泉純一郎氏講演会「日本の歩む道」 於 小出郷文化会館 第45期六日町町議会議長協同組合通常総会 於 金誠館 | H2018.6.15 | 南魚みらいクラブ会派会議 於 東ビル園 |
| H2018.4.24 | 平成30年度六日町商工会六日町支部総会 於 金誠館 | H2018.5.24 | 自民党六日町支部役員会議 於 自民党六日町支部事務所 | H2018.6.16 | 清塚武敏議員母堂様ご葬儀 於 虹のホールみなみ |
| H2018.4.25 | 平成30年度市政懇談会 於 南魚沼市役所本庁舎 | H2018.5.25 | 八海山と地元料理を味わう会 於 味の店 京 | H2018.6.18 | 六日町温泉旅館組合会議 於 ダ・フェールイン六日町六日町 六日町高等学校平成30年度第1回学校評議員会 於 六日町高等学校 六日町高等学校同窓会幹事会 於 六日町高等学校 魚沼同友会 於 金誠館 |
| H2018.4.26 | 南魚沼市社会教育委員会兼公民館運営審議会 於 南魚沼市民会館 | H2018.5.26 | 平成30年度小千谷法人会六日町地区会通常総会 於 木の芽坂 | H2018.6.19 | 直江兼続公伝世館及び太鼓橋改修検討会議 於 市役所本庁舎 第6回南魚沼市まち・ひと・しごと創生推進会議 於 市役所本庁舎 |
| H2018.4.27 | 八色の森交歓会 於 池田美術館 | H2018.5.27 | 花角英世県知事候補街宣車 於 南魚沼市内 | H2018.6.20 | 南魚沼市消防本部救助訓練の市長査閲 於 南魚沼市消防本部 |
| H2018.4.29 | 南魚沼市消防団六日町方面隊第一分団春季消防演習 於 北辰小学校 | H2018.5.28 | エフエム雪国開局20周年記念パーティー 於 NASPAニューオータニ | H2018.6.24 | 東東田区親睦ゴルフコンペ 於 十日町カントリー |
| H2018.5.1 | 小千谷法人会理事会 於 小千谷市 居食亭 東忠 六日町商工会煙火部幹事会 於 魚よし | H2018.5.29 | 三国川ダム新緑ウォーク 於 三国川ダム | H2018.6.25 | 学校法人里咲学園理事会 於 金誠館 |
| H2018.5.3 | 泉田裕彦南魚沼後援会設立総会 於 越路荘 | H2018.5.30 | 雪国青年会議所OB会臨時役員会 於 金誠館 | H30.6.26~28 | 南魚沼市議会総務文教委員会管外調査 北海道 ニセコ町~札幌市 於 北海道 |
| H2018.5.5 | 兼続公通り商店街祭り 於 兼続公通り | | | H2018.6.29 | 上田五十騎平成30年定時総会 於 金誠館 |
| H2018.5.7 | 自民党六日町支部執行部会・総務正副会長合同会議 於 六日町支部事務所 | | | | |